

たちばな医療専門学校自己点検・評価表

平成30年度

| 大項目 | 中項目 | 評価項目 | | | | | | 改善事項 | 備考 |
|----------------|-------------------|---|------------------|--------|---|---|---|--|----|
| | | | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | | |
| 1 教育理念 教育目標 | 1)学校の教育理念・目標の設定 | (1)教育理念を明文化している (2)学校独自の教育理念をもっている (3)教育理念・目的は人材育成の内容と一致している | ○ ○ ○ | | | | | (6)学期開始前に再度全学生に伝達する (10)(11)学生の人数が減少傾向にある為将来構想が難しい | |
| | 2)教育理念・目標の達成 | (4)教職員は教育理念・目標について認識し共有している (5)教職員は教育理念・目標に向けて努力している (6)教育理念・目標は学校に浸透している | ○ ○ ○ | | | | | | |
| | 3)教育理念・目標の点検・見直し | (7)教育理念・目標と教育課程の考え方方が一貫している (8)社会変化、ニーズに対応して見直している (9)教育理念・目標は年1回見直している | ○ ○ ○ | | | | | | |
| | 4)学校の将来構想の明文化 | (10)学校の将来構想は示されている (11)学校の将来構想について組織的に取り組む体制が整えられる | | ○ ○ | | | | | |
| 2 学生の受け入れ | 1)学生募集の方法 | (12)学校の教育理念・目標を反映した学生募集方針を定めている (13)入学定員を明示している (14)入試制度は明記している (15)入学選抜の方法は明示している | ○ ○ ○ ○ | | | | | (16)定員に達しない場合は判定会にて検討し決定する (17)転入学の学生は履修科目を提出し会議で検討して決定する | |
| | 2)入学選抜方法 | (16)合格基準は明確にしている (17)転・編入学の方法・基準を明文化している | | ○ ○ | | | | | |
| | 3)学生の募集の広報 | (18)学生の募集要項を作成し、看護の情報を提供している (19)志願者が関心をもつように工夫されている | ○ ○ | | | | | (18)29年度よりインターネットによる募集要項をダウンロードできるようになる (20)(21)年々学生数が減少し確保が困難になってきてている | |
| | 4)学生定員の質量的充足状態 | (20)在学生は定員の90%以上を満たしている (21)入学試験の応募状況は定員の3倍以上である (22)合格からの入学率は50%以上である (23)入学試験委員会が定期的に開催される | ○ | ○ ○ | ○ | ○ | | | |
| | 5)学生募集に関する分析・評価体制 | (24)志願者、合格者、入学者などの推移とその評価がなされている (25)選抜方法と学生の状況について検討している | | ○ ○ | | | | | |

* 評価については、5. 4. 3. 2. 1の段階評価を実施することを標準とする。その目安は以下の通りとする。

5:十分に達している(90%以上)

4:おおむね達成している(70%以上～90%未満)

3:やや達成している(50%～70%未満)

2:どちらかといふと達成されていない(20%以上～50%未満)

1:ほとんど達成されていない状態(20%未満)

たちばな医療専門学校自己点検・評価表

平成30年度

| 大項目 | 中項目 | 評価項目 評価目標 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 改善事項 | 備考 | |
|------------|--|--|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|------|--|--|
| | | | | | | | | | 備考 | |
| 3 学生生活への支援 | 1)健康管理 | (26)定期的に健康診断を実施している (27)学生が日常生活の健康管理ができるように指導している (28)臨地実習での感染防止の対策をとっている (29)健康記録は的確に記載し、活用している | <input type="radio"/> | | | |
| | 2)学生相談・進路相談の設置と対応 | (30)学生相談の窓口を設けていることを学生に周知している (31)学生相談の内容によって窓口(担当)を決めている (32)プライバシーが保持されるシステムができている (33)学生相談の専任のカウンセラーをおいている | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | | | <input type="radio"/> | | (30)(31)学年担当が相談に応じていることが多い (33)今後は検討し実現できるようにしていく | |
| | 3)課外活動・ボランティアの支援体制 | (34)課外活動の場所を提供している (35)課外活動の活動費用の支援体制がある (36)課外活動の講師または指導者について助言できている (37)ボランティア活動の支援体制ができている(情報提供など) | | | | | | | 評価しない | |
| | 4)自治活動支援 | (38)学生自治活動室(含兼用)がある (39)学生の自治活動が円滑にいくために助言・指導をしている (40)他校との交流の機会をもっている | | | | | | | | |
| | 5)福利厚生 (奨学金制度) (学生寄宿舎) (傷害保険) | (41)奨学金制度について学生に周知している (42)学則の中で授業料減免制度について学生に説明している (43)学生寄宿舎を有し、管理責任者をおいている (44)学生寄宿舎の運営は、学生が自主的に行っている (45)学生は傷害保険に加入している (46)教育理念・目標にあった科目を設定をしている | <input type="radio"/> | | (42)授業料減免制度はしていない。 (45)Willに学生・教員指導者・学校加入している | |
| | 1)カリキュラムの立案 | (47)科目設定には学校の特色を盛り込んでいる (48)科目設定には学習者、社会のニードを考慮している (49)科目の一般目標・行動目標は明確に設定している (50)指定規則に合致した科目と単位・時間を設定している | <input type="radio"/> | | (51)外来講師等の状況により変更がある | |
| 4 教育課程 | 2)カリキュラムの効果的編成 | (51)教育理念・目標にあった順序性で配列をしている (52)科目の位置づけと科目間の関連性を明示している (53)臨地実習目標は明確で、効果的に計画されている | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | | | | | (53)他校との調整が難しいが考慮はしている | |
| | 3)カリキュラムの点検・見直し | (54)カリキュラムの見直しは定期的(年1回)に行っている (55)臨地実習の計画・実践指導は効果的であるか定期的に見直している (56)カリキュラムの見直しは学生・講師・教員の意見を反映している | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | | | | (54)定期的に行うよう検討する | |

たちばな医療専門学校自己点検・評価表

平成30年度

| 大項目 | 中項目 | 評価項目 評価目標 | | | | | | 改善事項 | 備考 |
|-----------------|-------------------|--|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|------|---|
| | | | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | | |
| 5 教育活動・教育指導のあり方 | 1)学習支援 (ガイダンス) | (57)年度はじめにカリキュラムガイダンスを行っている (58)学生便覧は内容・構成が工夫して作成され、学生が活用している (59)シラバスが作成され活用について学生に説明している (60)1クラスの学生数は30人以下の編成である | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | | | | | (58)入学時は詳しく説明するが学年が進級していくと活用が少なくなる (62)講師等は時間の変更があり計画どおりにでき (64)できるだけ行っているがそうでない分野もある (66)(67)教員の人員が確保できず難しかった 今後も教育方法・研究を行っていく (70)ビデオ教材を少しづつ更新している (72)できるだけ行っている |
| | | (61)授業計画に基づいて授業は実施している (62)時間割の進度は、授業計画通りに行われている | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | | | | | |
| | | (63)科目ごとの授業内容を調整し担当者へ周知している (64)科目を担当する教員(専任・非常勤)は専門分野について専門家が担当している (65)教員1人当たりの週授業時間数は15時間以内である (66)教員の実習時間担当数は3時間に1時間程度の準備時間が見込まれている (67)教員間の講義・実習担当時間の配分はほぼ均等である | <input type="radio"/> | | |
| | | (68)授業内容は精選され、学生のレディネスにそって構成されている (69)学生が自主的に考え、学習することが可能な授業形態が導入されている(小人数教育・ゼミ)など (70)視聴覚教育機器・教材の質と量は十分で、効果的に活用されている (71)効果的な教育方法について、検討の場をもっている (72)教育において日常的に教材研究を行っている | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | | | | | |
| | 5)授業評価 | (73)教員は授業終了時に、学生による評価を実施している (74)学生による評価は評価表を作成している (75)教員自身による自己評価を実施している | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | | | | | |
| | | (76)評価の方法は試験・出席・学習状況・レポートにより行われている (77)授業科目毎に評価者と単位認定者を明確にしている (78)追試験・再試験・単位未修得者の評価基準を明確にしている (79)留年の基準を示し適用している (80)履修認定会議・進級判定会議は定期的に開催している | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | | | | | |
| | 7)単位互換 | (81)大学・短大・専修学校への単位互換が可能な科目設定である (82)大学(短大)卒の入学生に単位の認定制をとっている | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | | | | | |

たちばな医療専門学校自己点検・評価表

平成30年度

| 大項目 | 中項目 | 評価項目 評価目標 | | | | | | 改善事項 | 備考 |
|--------|--------------------------------|---|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|------|--------------------------------|
| | | | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | | |
| 6 実習環境 | 1)実習施設の要件 | (83)実習施設は実習場としての施設設備が整っている (カンファレンス、更衣室など) (84)実習施設は実習に必要な図書が整備されている (85)実習施設は基礎的看護に必要な看護用具が整備されている (86)実習施設は看護基準、看護手順を作成し活用している (87)1看護単位の実習受け入れは10名以内である | <input type="radio"/> | | | | | | (88)成人看護学実習などでは対象が少なく老年の方が多くなる |
| | 2)実習場の開発 | (88)実習科目的目標・内容に見合った実習施設を確保している (89)実習施設は実習目的を果たすために適切・妥当であるかを定期的に見直している | | | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | | | |
| | 3)実習指導者の能力開発 | (90)実習指導者に対して現任教育を計画している (91)実習指導者は自主的に研究会を実施している (92)指導者は学生の看護ケアに適切にアドバイスできる (93)実習指導者は看護実践の創意工夫に努める姿勢がある | <input type="radio"/> | | <input type="radio"/> | | | | |
| | 4)実習指導体制 | (94)実習要項は各領域毎に作成している (95)実習指導者会議は定期的に開催している (96)実習指導体制が明確にされ、指導者は1看護単位に2名以上配置されている (97)実習指導者は実習要項をもとに、指導計画を立案、実施・評価している (98)実習指導者と教員は、役割分担を明確にして指導している | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | | | | |
| | 1)研修活動の財政整備 2)教員の研究活動 発表 | (99)実習評価表は実習指導責任者が作成している (100)研修活動への年間予算計画が設定されている (101)教員は専門領域の研究活動に取り組んでいる (102)教員は学会の会員である (103)教員は研究活動の郊外研修を年3回以上確保している (104)教員は臨床ナースと連携や交流をはかり研鑽している (105)教員は研修成果を公表している | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | | | | | |
| 7 研究活動 | 4)研修活動への積極的参加 | (106)教員は年1回以上、自主的に研修に参加し、成果を公表している (107)教員は、専門領域の臨地実習、研修を実施している (108)教員が研修に参加できるようにシステム作りをしている (109)教員は対外的に講師としての役割を果たし、活動している | <input type="radio"/> | | (109)講義・実習が多く時間がとれない |

たちばな医療専門学校自己点検・評価表

平成30年度

| 大項目 | 中項目 | 評価項目 | 評価目標 | | | | | | 改善事項 | 備考 |
|----------|--------------------|---|------|---|---|---|---|---|------|---|
| | | | | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | | |
| 8組織・管理運営 | 1)学校の組織 関連組織の整備 | (110)教員組織、事務組織は責任者が配備され、運営しやすい組織図ができる (111)教員組織と事務組織は適正に連携している (112)教員組織は運営に必要な人数と職種が配置されている (113)事務組織は運営に必要な人数が配置されている (114)各職員が命令系統に沿ってその役割を果たしている (115)教員の人事について副校長・教務主任は意見を具申している (116)教員の将来方針を把握し、助言している | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | (112)今年度は教員が退職したが新教員の応募がなく採用ができなかった。 (116)教員の将来方針に沿えず離職に繋がった |
| | 2)講師・実習指導者の要件 | (117)講師の資格要件を明示している (118)非常勤講師は資格要件をもとに選考している (119)実習指導者の資格要件は明示している | | ○ | ○ | | | | | |
| | 3)教員人事の適正配置 | (120)教員は看護学の専門領域に配置できている (121)実習調整者は専任で配置されている | | ○ | | | | | | |
| | 4)職員の職務分掌 | (122)職務分掌は作成している (123)校長は職務分掌に沿ってその役割を果たしている (124)副校长は職務分掌に沿ってその役割を果たしている (125)事務長は職務分掌に沿ってその役割を果たしている (126)教務主任・教員は職務分掌に沿ってその役割を果たしている (127)事務員は職務分掌に沿ってその役割を果たしている (128)業務内容は効果的な職務遂行ができるよう適宜みなおしている | | ○ | ○ | | | | | (128)職務分掌は文章化しているが具体的ではない |
| | 5)会議への参加運営 | (129)副校长・教務主任は運営委員会会議に出席し、必要時意見を述べている (130)学校運営会議は定期的に開催している (131)教務会議は月2回以上定期的に開催している (132)講師会議は定期的に開催している | | ○ | | | | | | (129)(130)(132)は評価しない |
| | 6)学籍の管理 | (133)学籍簿は学籍の記録、履修状況が正確に記載され証明機能を備えている (134)学籍簿は保管が適切になされ、秘密が守られている | | ○ | | | | | | |
| | 7)卒業生の進路 | (135)卒業生の90%以上は看護職を選んでいる (136)卒業時点での進路状況が分類整理されている | | ○ | | | | | | |
| | 8)資格取得 | (138)国家試験合格状況は、全国の平均合格率を上回る (139)不合格者の背景、特性を分析し、教育活動に活かしている | | ○ | ○ | | | | | (138)やや下回った (139)今後把握し指導する |

たちばな医療専門学校自己点検・評価表

平成30年度

たちばな医療専門学校自己点検・評価表

平成30年度

| 大項目 | 中項目 | 評価項目 評価目標 | | | | | | 改善事項 | 備考 |
|------------|---------------------------------|--|-------------------------------------|---|---|---|---|------|---|
| | | | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | | |
| 社会への貢献 | 1)地域との連携と社会への啓蒙 2)近隣関連施設との連携 | (171)看護教育及び看護の情報を公開し、広報活動を行っている (172)学校行事は地域性を考慮して教育計画に位置づけている (173)地域への働きかけは社会のニーズに応じた内容である (174)近隣施設のボランティア活動に積極的に参加している (175)社会人及び近隣施設の生涯教育の場として 学校を開放している (176)近隣関連施設との情報交換および連携ができている | ○ ○ ○ ○ ○ ○ | | | | | | (171)(172)(173)(174)(175) 夜間の学校であり 日中は勤務をしている が今後は検討の余地 がある |
| 11 予算 | 1)事業計画 2)予算の執行 3)経営意識 | (177)学校の事業計画を立てている (178)事業計画はたちばな会の全体計画の中に位置づけられている (179)中・長期目標の予算計画が立てられている (180)年間の予算計画・執行状況を把握し、必要時修正している (181)職員は歳入歳出の状況を把握している (182)職員全員が経営意識をもっている (183)職員は歳出削減に向けて努力している | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ | | | | | | |
| 12 学校評価 | 1)自己点検・評価体制 | (184)学校自己点検・評価のシステムが作られている (185)自己点検・評価に必要な基礎データ等の整備がなされている (186)自己点検・評価を定期的に実施している (187)自己点検・評価の結果を公表している (188)評価を次年度に生かしている | ○ ○ ○ ○ ○ | | | | | | (188)評価を次年度に 活かせるように今後も 努力していく |